

おおとり通信

八戸市立団南小学校
平成30年度 NO9
3月号



こだまでしょうか、いいえ、誰でも

電車の中でのこと。小さい男の子が窓の外を見てはしゃぎ始めました。そばにいたお母さんが叱りましたが、男の子はますますはしゃぎ、困ったお母さんはさらにきつい声で叱ったのです。そのとき、一緒に居た連れの女性が子どもを膝にのせて、「ああ、海が見えるね。鳥もいるよ。」とあやし始めました。男の子は、うれしそうに外を見ながら、その女性の話に耳を傾けたのです。男の子は、きっと窓の外の見慣れない景色に心が躍り、わくわくしたに違いありません。電車の中では静かにするという大人の都合はあるものの、子どもの好奇心から来る反応は人間として当たり前のことです。それを母親から否定され、男の子はどうすればよいか分からなくなってしまったのでしょうか。

金子みすゞの「こだまでしょうか」という詩があります。

「遊ぼう」というと「遊ぼう」という。
「ばか」というと「ばか」という。
「もう遊ばない」というと「もう遊ばない」という。
そしてあとでさみしくなって
「ごめんね」というと「ごめんね」という。
こだまでしょうか、いいえ、誰でも。



しいんとした山間で、言葉がそのまま返ってくるこだま、それも小さく優しく…。

昭和の時代は、子どもが「痛い！」といったら、「痛いね。」と言ってくれる大人がいました。お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんが、「痛いの、痛いの飛んだけ。」と言ってなでると、痛みは感じなくなってしまったのです。今は、「痛い」といった子どもに、「痛くない！」と否定する人が多いことに驚きます。否定されることで、この痛みは行き場を失い、いつまでも子どもの心にくすぶり続けます。(しつけと言う人がいますが、否定することはしつけではありません。)否定されて育った子どもは、心が痛みでいっぱいになり、突然爆発してしまうことがあります。自己肯定感が低く、ちょっとしたことでも投げやりになってしまいます。

学校は、いろいろな子どもが集団生活の中で切磋琢磨する場所です。ところが、自己肯定感が低い子どもにとっては地獄です。常に他人と自分を比較し、自分が人より劣っていることを悲観し続けます。このような子どもが共通して言う言葉があります。「どうせ、怒られる」「どうせ、自分は」。

一方、愛され、肯定されて育った子どもは、他人と比較するよりも自分自身と向き合うことができます。ですから、向上心をもち、明るい未来を信じて努力します。

子どもはみな、自分の心に寄り添ってくれる大人を欲しています。どうか、お子様の声に耳を傾け、ぎゅっと抱きしめてあげてください。(それは、決して甘やかではありません。)

こだまでしょうか、いいえ、誰でもとは、こだまし合うことで相手の気持ちと響き合い寄り添うことができる、誰でもできる。——という意味です。

<3月の生活・保健目標>

- 1年間をふりかえろう
 - ・気持ちのよいあいさつをする
 - ・決まりを守り、安全に生活する
- 1年間の健康について反省しよう



3月の予定

日	曜	行 事
1	金	安全点検 クリーン大作戦 (5時間授業)
2	土	
3	日	
4	月	5時間授業
5	火	3~6年6時間授業
6	水	職員会議 全校集会
7	木	お話タイム 4時間授業(給食有り)
8	金	4時間授業(給食有り)
9	土	
10	日	
11	月	防災教育の日
12	火	委員会活動
13	水	音楽集会
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	卒業式予行
19	火	3~6年6時間授業
20	水	音楽集会
21	木	春分の日
22	金	卒業式
23	土	
24	日	
25	月	給食最終日
26	火	修了式・離任式 4時間授業
27	水	春休み～4/5まで
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

防災教室「あの日を忘れない」

3. 11は、防災教育の日です。大震災後に生まれた子どもたちがほとんどですので、あの日のことを伝えていくことは大変重要です。そこで、青森県防災士会防災士の道川正氏、館合裕之氏を講師に、「災害から自分の身を守るためにどうすればよいか～東日本大震災の教訓～」と題して防災教室を行いました。



今回は津波の高さをシミュレーションし、すぐに避難することや避難先を決めておくなど、命を守るために大切なことを学びました。ご家族でもお子様から聞きながら話し合いをもっていただきますようお願いします。

おめでとう

- ◆第47回八戸市ふれあい作品展
参加賞 2年 庭田 [REDACTED]、小橋 [REDACTED]、5年 上村 [REDACTED]
- ◆市内児童環境美化コンクール
【ポスターの部】佳作 4年 庭田 [REDACTED]
【標語の部】佳作 4年 尾田川 [REDACTED]
- ◆第55回全国才能開発コンテスト
【图画の部】佳作 5年 大沼 [REDACTED]
- ◆第15回八戸市競技かるた小中学生大会
【小学5・6年の部】優勝 6年 坂下 [REDACTED]
- ◆第53回八戸市小学校图画工作展
【描画の部】入選
1年 安藤 [REDACTED]、2年 庭野 [REDACTED]、4年 向明戸 [REDACTED]
【版画の部】入選
3年 坂下 [REDACTED]、4年 鳥谷 [REDACTED]、6年 山館 [REDACTED]
【工作の部】入選
1年 小林 [REDACTED]、2年 明堂 [REDACTED]、3年 上村 [REDACTED]
4年 尾田川 [REDACTED]、5年 大沼 [REDACTED]、6年 伊藤 [REDACTED]
- ◆第40回八戸市ミニバスケットボール新人大会
第3位 長者ミニバスケットボール愛好会 (4年 工藤 [REDACTED]、滝澤 [REDACTED])
- ◆第10回武輪水産杯県南親善卓球大会
【女子個人5年の部】優勝 5年 馬場 [REDACTED]
- ◆第43回青森県小学生フィギュアスケートフリー大会
【女子Hクラス】第1位 2年 犹守 [REDACTED]
- ◆第48回青森県小学生フィギュアスケート選手権大会
【女子Gクラス】第2位 2年 犹守 [REDACTED]
- ◆第48回青森県フィギュアスケート選手権大会
【女子Gクラス】第1位 2年 犹守 [REDACTED]